

応用編

自治体交通担当者向け勉強会を開催しました

～地域公共交通勉強会 in 大崎上島町～

広島運輸支局では、自治体交通担当者を対象に運送法等の知識の習得や担当者同士の交流を目的とした地域公共交通勉強会を開催しております。



今回、5月に実施した基礎編に引き続き、実際に公共交通を体験して知見を広げてもらうことを目的とした応用編を2月26日（金）に大崎上島町で開催しました。

当日は、大崎上島町を含め全部で10自治体から参加があり、総勢19名で開催する運びとなりました。

まず、現地視察として竹原港から高速船で天満港へ移動し、映画『東京家族』のロケ地である木江を大崎上島町役場産業観光課の秋山係長のご案内で視察しました。普通に歩いただけでは分からない木江の歴史や建造物の由来を秋山係長の軽妙なトークでご案内いただき、参加者が大変興味深く視察していたのが印象的でした。



続いて、木江からさんようバスが運行する島内循環バスで勉強会会場の大崎上島町役場まで移動し、米子高専の加藤准教授をコーディネーターとした座学を実施しました。座学では、まず大崎上島町企画振興課の川本係長から大崎上島町の公共交通について事例紹介と本局交通企画課の小松課長から平成28年度予算概要に関する情報提供をしていただいたあと、各自治体交通担当

者同士による意見交換を行いました。

意見交換では、航路の再編についてや地域公共交通網形成計画の策定について担当者ならではの苦労話を聞くことができ、各自治体交通担当者にとってはもちろんのこと運

輸局職員にとっても、協議会に出席するだけでは分からない部分の事情を伺うことができ大変有意義な意見交換ができたと思います。

勉強会終了後のアンケートでも、他の自治体の事例を知ることができ参考になったとの感想を多くいただき、当勉強会が自治体交通担当者の要望に沿った形で実施できたと感じているところです。今後も、広島運輸支局では地域公共交通勉強会を通じて、公共交通に関する知識や情報の提供と人的ネットワークの構築に努めていきます。

